



広島県における犯罪情勢と犯罪防止に向けた取り組み

広島県警察本部生活安全部参事官 竹重 幸司



1 はじめに

広島県警察では、平成15年から「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動を展開しており、運動目標として「住む人来る人誰もが日本一の安全安心を実感できる広島県」を定め、地域住民、事業者、自治体、関係機関とともに、県民の安全と安心を向上させるための警察活動に取り組んでおり、本年は令和3年からスタートした第5期アクション・プランの最終年となります。

2 広島県の概要

広島県は中国地方の中央部に位置し、人口は約270万人、面積は約8,479km²、23の市町からなり、北部には中国山地がそびえ、春には桜、夏には緑豊かな高原、秋には紅葉、冬には冬景色と四季折々の景色の変化が楽しめる地域であり、美しい山並みのほかに清流による溪谷美、大小無数の島々からなる瀬戸内海のパノラマが広がる自然豊かな県です。

代表的な産業としては海と山の幸に恵まれた土地により農業、漁業が盛んであり、レモン、牡蛎、くわいの生産量が日本一であるほか、自動車産業、造船業、鉄鋼業といった重工業から電気機械や電子部品といった先端産業まで多岐にわたるものづくりが非常に盛んな県です。

また県内には原爆の悲惨さと平和の大切さを伝える原爆ドームと日本三景の一つである厳島神社の二つが世界遺産に登録されており、県内外からの観光客や訪日外国人が多く訪れています。



原爆ドーム



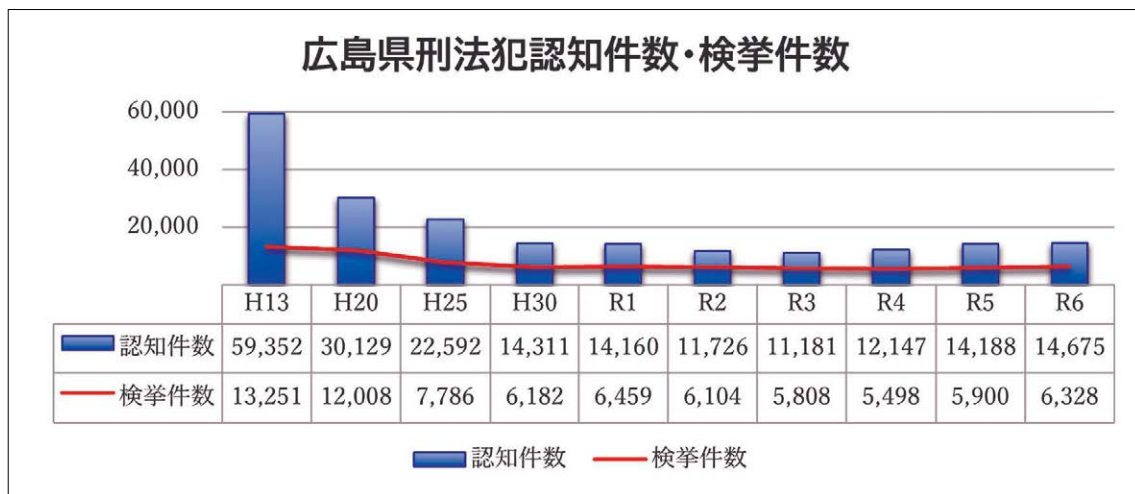
厳島神社大鳥居

3 広島県の犯罪情勢

(1) 刑法犯認知件数

広島県の刑法犯認知件数は、平成13年の59,352件をピークに減少していましたが、令和4年から増加に転じ、自転車盗や車上ねらいといった「不安を感じる犯罪」や子供・女性・高齢者対象の刑法犯被害、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺による被害の発生、「匿名・流動型犯罪グループ」による各種犯罪への関与など厳しい状況が続いています。

令和6年中の刑法犯認知件数の内65%を占める窃盗事案の中でも自転車盗、万引きによるものの割合が高く、自転車盗に関しては約7割が鍵を掛けていない状態で被害に遭っていることから、鍵掛けの励行による犯罪被害防止を県民に呼び掛けているところです。

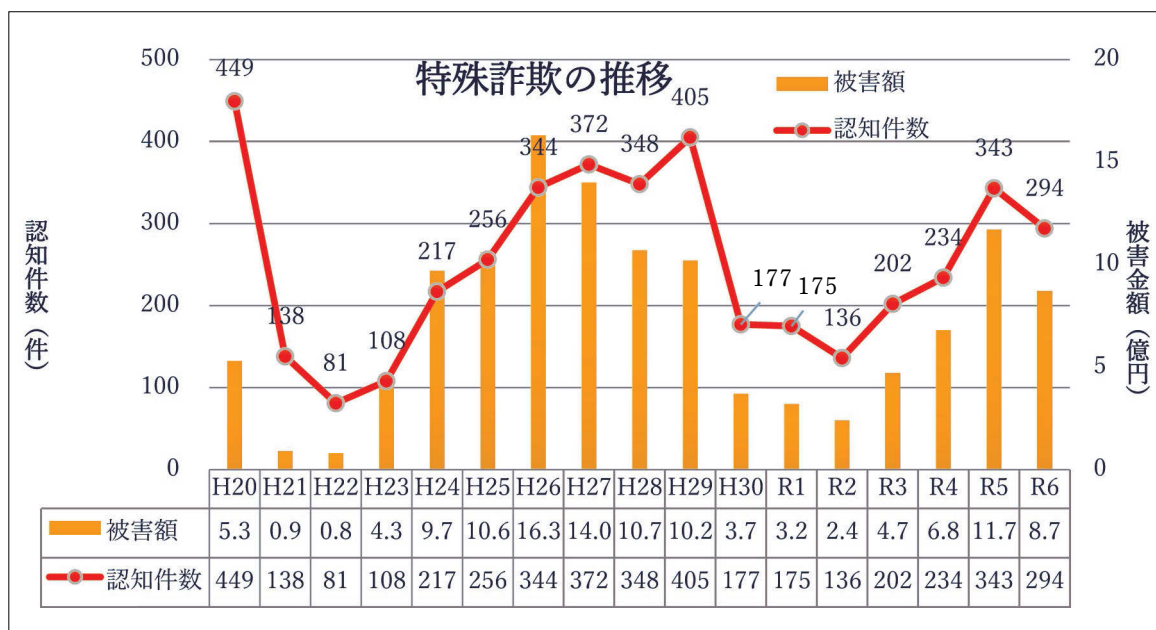


(2) 特殊詐欺、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の被害状況

広島県における令和6年中の特殊詐欺被害は、認知件数は4年ぶりに減少するも、被害額は4年連続で増加し、中でも、警察官等を名乗るオレオレ詐欺が8億円と統計史上最高額に上っています。

また、SNS型投資詐欺・SNSロマンス詐欺は、令和6年中の被害額が約33億円と特殊詐欺被害を大きく上回る大変厳しい情勢にありました。

更なる被害の拡大を防ぐため、県警公式SNS等のあらゆるツールを活用した情報発信や犯人からの電話を直接受けないための固定電話対策、金融機関等の事業者の協力による顧客に対する声かけや警察への通報による水際阻止対策を推進しています。



4 防犯アプリの普及促進

広島県では、広島県警察安全安心アプリ「オトモポリス」の運用を令和4年2月から開始しており、令和7年6月で12万ダウンロードを達成しています。

このアプリには犯罪、不審者、交通事故、特殊詐欺関連情報をマップ上に表示する機能や、防犯ブザー機能、痴漢対策機能、現在地送信機能等が搭載されており、好評をいただいているところです。

こうした防犯アプリは、他県でも運用されているところですが、広島県警察独自の機能として、昨年からアプリ内で県内のご当地キャラクターやプロスポーツチームのマスコットキャラクターをアイコンとして使用できるようにするなど随時アップデートし、オトモポリスの名前の由来でもある「県民をお供する」「県民の友」として、愛着を持って使用していただくことを目的としています。

このアプリが習慣的に広く県民の間で犯罪情勢、犯罪情報を確認するために使用されていけば、自ずと県民一人一人の防犯意識が高まり、犯罪に遭いにくい、犯罪の起こりにくいまちづくりへつながっていくものとして、今後も普及に努めてまいります。



5 特殊詐欺、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺対策の推進

(1) 県民が被害に遭わないための対策の推進

固定電話に対する特殊詐欺のアポ電が未だに多く発生しており、近年では国際電話を使用した手口も増加していますが、NTT西日本ナンバーディスプレイ契約の無償化、国際電話利用休止申込みの広報推進、公益財団法人全国防犯協会連合会と連携した優良防犯電話の普及促進事業への協力により被害に遭いやすい高齢者世帯へ優良防犯電話500台を設置しています。

(2) 関係機関と連携した水際対策

金融機関に対して高齢者の高額出金やATM利用時の声掛けを依頼するとともに、電子マネーでお金を支払わせる手口に利用されやすいコンビニエンスストアに対しては、電子マネー購入者用注意喚起封筒を配布し、電子マネー購入者への注意喚起、警察への通報を依頼することで水際対策を実施しています。

(3) 広報啓発活動、情報発信

テレビ、新聞等を通じた広報の実施や、特殊詐欺予兆電話の発生時に広島県警察安全安心アプリ「オトモポリス」、県警メールマガジン、Yahoo!くらし「防災情報」等による注意喚起情報を発信し、県民に広く注意喚起を実施しています。

またSNSで公開されてわずか1週間で再生回数が1000万回を超えた「詐欺のうた」のように、創意工夫しながら県民に届く広報啓発に取り組んでいます。

(4) カーブOBである達川光男氏を起用した広報啓発

広島県内で抜群の知名度を誇るカーブの達川光男氏を起用したポスターやSNS型投資詐欺被害防止に向けたメッセージ動画を制作し、県内で公開しています。

同氏のキャラクターを活かしたインパクトのある注意喚起メッセージで県民に強く訴えかけています。

(5) 「わかりやすく、気付きやすい」効果が期待される錯視シートによる被害防止

人間の錯覚を利用して、平面に描かれたイラストがある一定の距離で見ると立体的に見えるシートを作成し、令和7年2月、県内15の金融機関で合計47枚をATM前床面に設置しました。

ATM来訪者に向けて、特殊詐欺被害防止を訴える姿が立体的に見えるデザインとなっており、これまで以上に被害防止効果が期待できます。



達川光男氏を起用したポスター



電子マネー購入者用注意喚起封筒



錯視シート

6 結びに

公益社団法人日本防犯設備協会の皆様には、警察活動の各般にわたり御理解と御協力を賜っておりますことに加え、優良な防犯設備の普及や維持管理、広報啓発など、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、御尽力いただいていることに対して、敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

広島県警察といたしましては、今後とも同協会と連携し、「安全・安心な広島県の実現」に向けて防犯対策を推進してまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。